

## 「御嶽山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討会」第2回検討会

火山噴火緊急減災対策砂防計画は、いつどこで起こるか予測の難しい火山噴火に伴い発生する土砂災害に対して、ハード及びソフト対策からなる緊急対策を迅速かつ効果的に実施し、被害をできる限り軽減（減災）することにより、安心で安全な地域づくりを目的として、国土交通省では「火山噴火緊急減災対策砂防計画ガイドライン（平成19年4月）に基づき「御嶽山火山噴火緊急減災対策砂防計画」を策定するもので、御嶽山に関わる防災関係機関や学識経験者からなる「御嶽山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討会（平成21年10月26日）」を設置したことから、第2回検討会を開催し、火山防災マップ、計画前提条件、監視観測体制、周知啓発、行政広域防災体制の確立等、出された課題に対する検討内容の一部を報告するものです。

なお、今回の検討会では、これらの課題に対し主に下記について報告すると共に引き続き課題の検討をおこなうものです。

### 今回の検討会における主な内容

- ・ 噴火シナリオの検討結果の報告  
イベントツリーの作成  
(どのような火山活動を想定したか)
- ・ 火山活動による影響範囲の想定結果の報告  
影響範囲予測の結果と妥当性の確認  
(噴石・降灰・溶岩流・火砕流  
・ 融雪型火山泥流・大規模崩壊)
- ・ 噴火シナリオケース及び対策の基本方針の  
検討